

# 病院と地域をむすぶ



# パイプライン



2016年7月号

発行：総合病院 南生協病院

6  
月  
実  
績

一日外来患者数：826.2人 一日入院患者数：270.2人 ベッド稼働率：87.1%  
救急車：246台 手術数：132件 紹介件数：563件

## 下肢静脈瘤の治療について 治療の質

10年位前までは下肢静脈瘤の検査は静脈造影といって足の甲の静脈に針を刺して造影剤を入れてレントゲン写真を撮る検査をしていました。足に針を刺すのはとても痛く、患者さんに「痛い、痛い」と言われていましたが、今は超音波（エコー）で痛みを与えることなく検査できるようになりました。痛くなく、放射線被曝もないので何度でも検査できます。治療も飛躍的に進歩しました。静脈瘤の治療は以前はストリッピング手術という、血管を抜いて取る手術が根治術で入院して治療していました。しかし、最近ではカテーテル（レーザー）で血管を中から焼いて閉塞させる治療が主流になっています。治療の効果はストリッピングの手術と同じくらい良いのに、創がほとんどなく、痛みも少なく、日帰りで治療できます。南生協病院でも3年前からこのレーザー治療を取り入れています。「知らなかった。もっと早く治療すれば良かった」と言われることもよくあります。多くの患者さんに利用して頂けるよう啓蒙活動をしていきたいと思えます。

外科 静脈瘤外来担当医師 宮崎 慶子

## みなさんの健康を支える病院になります

南生協病院はWHOがすすめるHPH（Health Promoting Hospitals & Health Services、ヘルス・プロモーション・ホスピタル）に加盟して、患者さんや職員、地域住民の皆さんの健康状態の改善のためにヘルスプロモーション活動をします。今年の健康づくりのテーマは「減塩（うすしお）生活」ですね。その「うすしお生活」を病院からも勧めていきます。職員の健康意識を高めることも目的になりますが、病気の専門家として患者様や組合員さんに分かりやすく説明できるスタッフを増やします。具体的には「うすしお生活」のための日頃気をつけることを病院職員全員が伝えられる、そんな病院を目指します。今年は南生協病院開院40周年の記念の年。さまざまな取り組みで新たな一歩を踏み出しますよ。

55・40 記念事業おたがいさまプロジェクト病院  
チーム内HPHチーム事務局

リハビリ科 梅原 尚子

## 安心してご利用いただけるよう頑張ります！

医事サービス課は南生協病院に来られた外来受診患者様の受付・入院患者様の受付・医療費の計算と請求書の発行・会計窓口での医療費のお預かり・診断書や生命保険にだすための書類のお預かり等を病院内の医療スタッフと連携し、行っています。

患者様にとっては病院にきて一番に顔を合わせてお話をさせていただく部署であるため、患者様に安心してご利用いただけるよう日々努力しています。患者様に気持ちよく利用してもらえよう接遇を丁寧に行うだけでなく、該当になる患者様には福祉医療証や限度額認定証など患者様の医療費の自己負担額を抑えるための制度のご案内もさせていただき、それぞれのセクションでの待ち時間をできるだけ減らせるよう一件一件の手続きを迅速に行うよう取り組んでいます。

南生協病院を利用される患者様に安心してご利用いただけるよう、接遇力・対応力を高めるだけでなく、患者様の立場にたって対応できるようレベルアップしていきたいと思えます。

医事サービス課主任 福澤 弘康